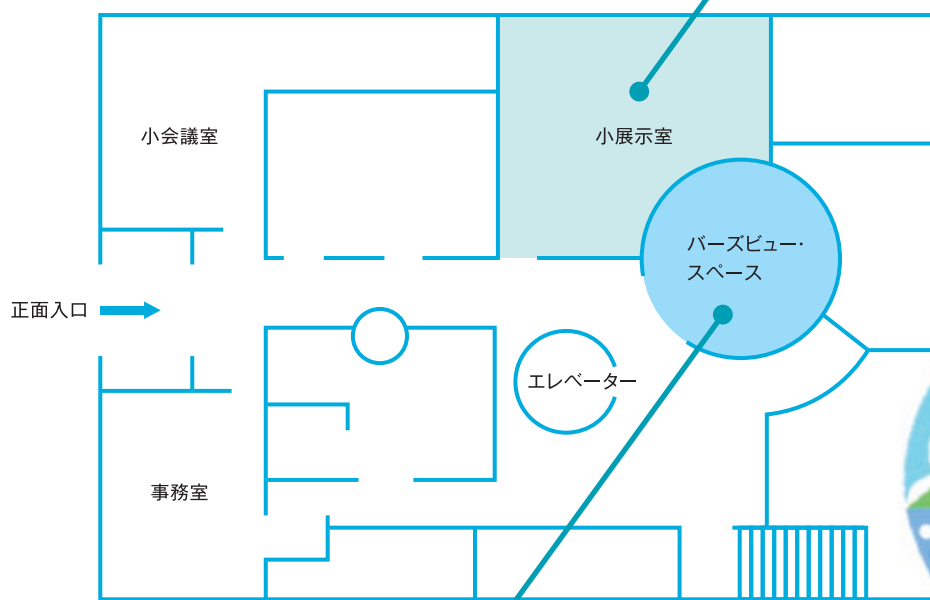


1F

企画展を実施する小展示室、過去の環境汚染を克服し、カラフルでいきいきとした水俣市の現在の姿をより深く認識していただける映像の放映や、水俣の現在の姿を360°VRでお楽しみいただけるコーナーがあるパースビュー・スペース、事務室や小会議室があります。

小展示室

国立水俣病総合研究センターの多様な水俣病及び水銀に関する研究、地域貢献活動、国際貢献活動から特定のテーマにスポット当てて詳細を紹介する企画展を、毎年展示を入れ替えながら開催しています。



VRコーナーでは、水俣の現在の姿をVRゴーグルによって360°お楽しみいただけます。動画には空編・山編・海編の3つがあり、それぞれ異なる視点から水俣の現在の姿を見ることができます。ドローンにより上空から撮影した360°動画を、VRゴーグルを使ってまるで空を飛んでいるような視点でご覧ください。

パースビュー・スペース

水俣市の地形や自然、息づく風土を、上空、地上、海中の3つの視点から分かりやすく魅力的に発信する映像を壁面のスクリーンにて放映しています。これにより国内外からの来館者に、過去の環境汚染を克服し、カラフルでいきいきとした水俣市の現在の姿をより深く認識していただけます。



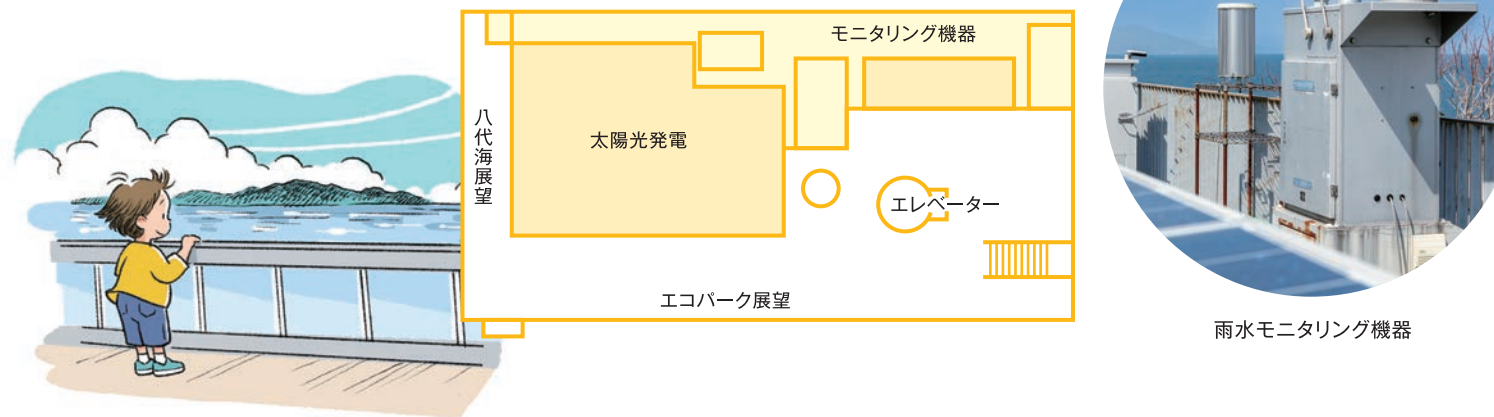
足下に広がる八代海沿岸地域の衛星写真を見ると、八代海が閉鎖的な内海となっていることがわかります。

壁面のスクリーンでは、「水俣空中散歩(空からみた水俣)」、「水俣の四季(地上からみた水俣)」、「水俣海中散歩(水俣の海)」の3本の映像を放映しています。(放映時間(1本約10分))

屋上

屋上からは海と山の両方の景色を楽しむことができます。海側には、水俣湾、エコパーク水俣、八代海(不知火海)が一望でき、八代海を挟んだ対岸には獅子島や御所浦島といった天草諸島を臨むことができます。山側にはエコパーク水俣、水俣市内の街並み、山々を一望できます。この他、屋上には、国立水俣病総合研究センターの研究として、大気・雨水中の水銀観測を行うための研究機器が設置されています。

屋上からの八代海展望パノラマ

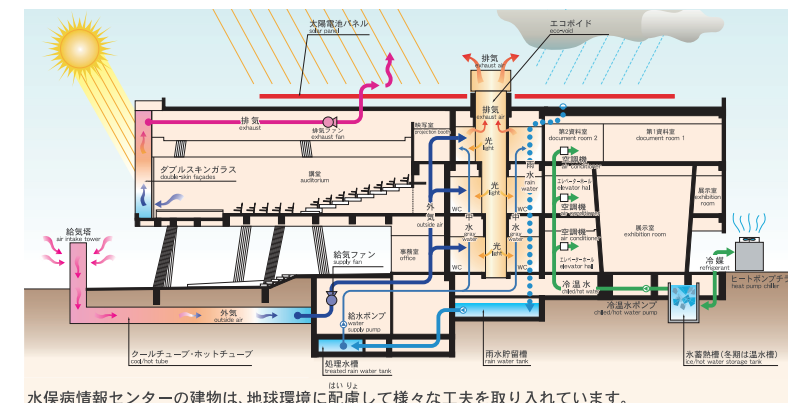


水俣病情報センターは環境に配慮した建物です。

環境への負荷を抑制するため、太陽光発電、水蓄熱冷暖房、雨水利用、LED照明等の設備を取り入れています。例えば、建物の中心にある吹き抜けは太陽光を取り入れて照明として活用しており、この設備は余剰排気や火災時の排煙にも利用できます。他にも、冷暖房熱源として夏季は氷を、冬季は温水を利用し、省エネを実現しています。

毛髪の水銀量を測ってみませんか?

来館された方を対象として、毛髪を10本程度採取することで、毛髪に含まれる水銀量を測定することができます。ご希望のお客様は1階事務室までお申し付けください。毛髪水銀の測定の際には簡単なアンケートにご協力いただきます。測定結果は、およそ1~2か月後に郵送でお知らせいたします。団体で測定を希望の方は必ず事前にご相談ください。



見学の際は次の点にご注意ください。

- ・館内の撮影は自由ですが、三脚などで周囲に迷惑をかけないようにお願いします。
- ・館内での飲食、ペットの持ち込み、喫煙はご遠慮ください。
- ・他のお客様の迷惑となるような行為はお控えください。

環境省
水俣病情報センター
MDA Minamata Disease Archives

〒867-0055 熊本県水俣市明神町55-10 TEL:0966-69-2400
<http://nimd.env.go.jp/archives>

MDA
環境省
水俣病情報センター
Minamata
Disease
Archives

展示見学ガイド



